

事業の基礎情報

実施主体	深谷観光バス株式会社
事業実施地域	深谷市 ・ 熊谷市
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	教育
共創パートナー	・深谷市 ・学校法人 藍香学園 深谷大里看護専門学校
運行形態	路線バス
運行主体	深谷観光バス株式会社

取組の概要

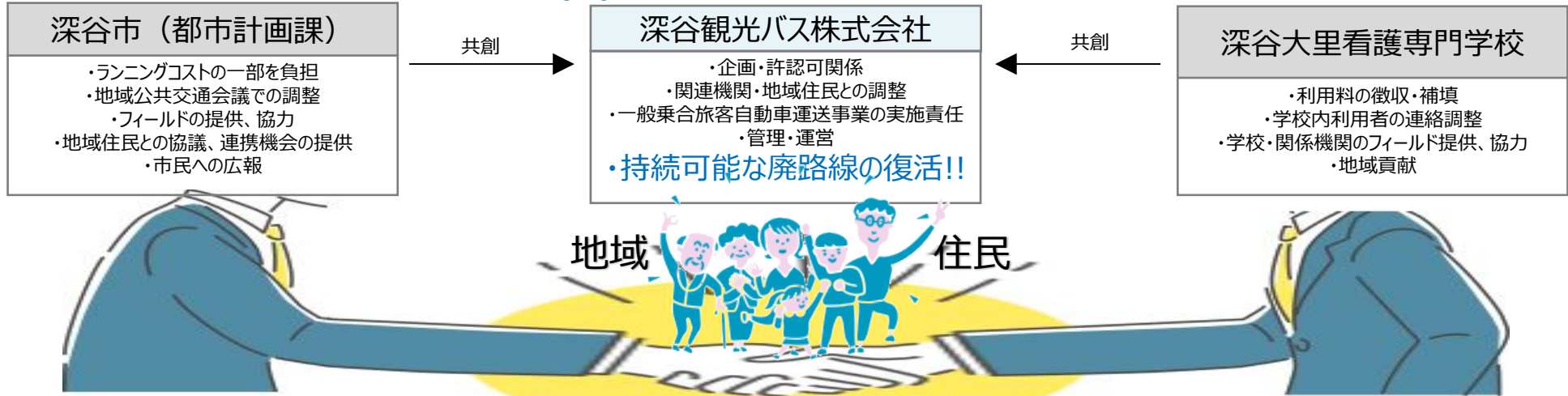
（現状の地域課題と事業目的）

収益不足により、ローカルバス路線は廃路線もしくは合理化される。そして高齢化率の高いローカルエリアの移動困難者は年々増加しており、街の魅力は失われていく。この事象はどのローカルエリアでも起こりうる。しかし、ローカルエリアでもランドマーク的な施設や教育機関など独自の輸送手段を有している施設、教育機関は少なくない。そんな独自の輸送手段を有している教育機関に公共性、地域性の理解を得、行政や地域住民に理解と共感を得て、交通事業者が双方のハブとなり、連携、共同することによって負担軽減など合理性を基に路線バス事業を持続可能な地域交通インフラとして変革し、構築することを目的とする。

（事業の概要）

医療系教育機関と行政と交通事業者がプラットフォームを組み、交通事業者に安定的な財源や広報、情報、調整など必要な機会を提供することにより路線バス事業を安定的、持続的に営める可能性が高まる。また医療系教育機関は研修先など公共性の高い施設への移動ニーズもあり、地域住民の移動ニーズとも合致する。また通勤や生活などのニーズを分け、多系統の運行を割り当てることによって合理性の高い路線バス事業を行う。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

（地域の関係者との連携・協働）

- ①深谷観光バス株式会社:複数箇所からの支援により新規路線の企画が可能になり持続的・安定性の高い事業が行える。
- ②深谷大里看護専門学校:スクールバスを兼用することによって社会貢献と費用負担の軽減を図ることができる。またバスラッピングを行うことにより地域の認知媒体として生徒募集の際の優位性を得られる。
- ③深谷市:地域住民の生活移動ニーズに効果的に対応し、市内交通の充実を図る事ができる。

（実証事業により見込まれる効果）

- ・対象エリアの高齢者は6,025名以上と見込まれ高齢者に多い移動困難者の一助となる。 ※データ:令和2年国勢調査
- ・深谷市からの高崎線沿線のぼり方面の流出人口は16,843名と高く、のぼりに位置する籠原駅のぼりの本数と深谷駅のぼり本数は43本減（下りも同様程度）と一駅ながら格差が生まれている。のぼりに向かう地域住民は籠原駅の利用が合理的であり利便性を高める効果が見込まれる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

	項 目	時 期											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
補助事業年度の スケジュール	■体制構築	◀▶											
	■補助金交付申請	◀▶											
	■実証運行準備(各種設定・発注・調整)			◀-----▶									
	■深谷市地域公共交通会議				◀▶								
	■熊谷市地域公共交通会議				◀▶								
	■バス停・ルート・時刻表決定				◀▶								
	■一般乗合バス運送事業申請				◀-----▶								
	■広報				◀-----▶								
	■乗務員研修								◀-----▶				
	■特定旅客の切り替え									◀▶			
	■実証運行開始(予定2か月)									◀-----▶			
	■実績報告											◀▶	

(補助事業実施後の予定)

事業を最小の5年計画と捉えバス路線運営費が必要となる。

そこで、交通事業者に行政・深谷大里看護専門学校より運賃補助、利用者収入（過去データ 平成29年路線変更、深谷市コミュニティバス東循環便、重複ルート）を加えるとバス路線運営費想定額の収入となり、イニシャルコストが大きな負担となる5年間を超えた以降は収益性も向上し、路線として持続可能となる見込みである。

また教育機関・地域性質共に短期で大きな変化が訪れる見込みは無く安定性も見込まれる。